

おたあけじぞう



原作：福村治雄 イラスト：三善和彦



日本の星にまつわることわざの数々。

みなさんは、どれくらいご存知ですか？時計やカレンダーといった便利なものがなかった時代、漁や農作の目安は太陽や星などの天体でした。特に星については、その地域特有のさまざまな呼び

名や言い伝えがあったのです。なかでもオリオン座の三ツ星、おうし座のすばる、さそり座の釣り針など、特に目立つ星の並びは、季節や時刻の目安として、日本中でいろいろな形で語り継がれてきました。

この番組は、星のおじさんこと、福村治雄氏が、その代表とも言えることわざ「すばるまんどき粉八合」に着目し、創作した物語を原作に、プラネタリウムの中に、暖かく懐かしい“日本の昔”を再現します。

ものがたり

むかしむかし、信濃の国のお話しです。

ある村に多助さんという働きもののおじさんと
口のきけない孫の女の子が二人きりで住んでいました。

ある日、多助さんは、畑でお地蔵さんを掘り出します。

やがてそのお地蔵さんは、どんな病気もケガも

治してくれる「お助け地蔵」として遠くの村まで評判を呼ぶようになりました。

ある夜のこと、女の子は、空を指差しきれいな声で歌い始めたのです・・・。



みどころ



むずかしくなりがちな星とことわざの関係を物語の中で、自然に語っていきます。人気のTVシリーズ「まんが日本昔ばなし」も担当した、三善和彦氏のイラストが、多助と娘の会話にほのぼのとした情感をかもしだし、小さなお子様から大人まで楽しめる番組です。



スタッフの紹介



原作 福村治雄

元日本プラネタリウム研究会副会長、足立区教育センターで長年プラネタイルムに従事。幼少のみぎりより有楽町東日天文館に通い、野尻抱影や、鈴木敬信の解説

を聞く。星のおじさんとして知られ、随筆を月刊天文に連載していたことも。引退した現在もボランティアとして各地の天文施設で講習会などを開いている。現在の興味は国友藤兵衛の反射望遠鏡と同じものを製作すること。松戸市在住。

主題歌、挿入歌の作曲 大西 進

幼児から小中学校愛唱歌、記念歌、校歌など、これまでさまざまなジャンルの曲を作詞作曲している。地球環境をテーマに北海道から沖縄まで自然にかかわる歌、多数。主な作品



にNHKみんなのうたの「カメレオン」や地球サミット、日本のテーマ曲「アース・デイ」など。現在も合唱団の指揮や指導に忙しく飛び回っている。「星」をテーマにまた福村治雄氏とコンビで作曲中。日本童謡協会会員。横浜市在住。

歌と演奏 アクアマリン

1998年結成。キーボードのミマスとボーカルのサチコによるデュオ。星や宇宙、旅などをテーマに美しい歌詞とメロディを展開。各地のプラネタリウムや星祭のイベントに積極的に参加。デビュー曲「COSMOS」は国立天文台後援の「スターウィーク」のテーマソングに採用された。



ミマスは自ら「星空音楽家」を名乗るほどの星通。サチコは声楽を専攻しただけあって、声には絶対の自信がある。

今回の「すばるまんどき粉八合」と

「すばるはわたしのくびかざり」でも自慢のクリスタルボイスを聴かせる。

作画 三善和彦

早稲田大学法学部卒業後、なぜか畑違いのアニメーションの世界に入る。

「まんが日本昔ばなし」に参加し、レギュラーの作画・演出家となり、数多くの作品を残す。

以後もっぱら同番組を中心に、

アニメーション界の外れを歩く。現在はプラネタリウムの作画・演出も担当するかたわら、フリーのイラストレータとして活躍中。世田谷区在住。ホームページURLは

<http://home.catv.ne.jp/dd/miyoshi/>



- *M45がテーマなので秋から冬にかけての投影に適しています。
- *ご要望に応じて季節の星座解説とセットにすることも可能です。
- *価格は、投影館の投影機システムその他によって異なりますので、個別にご相談させていただきます。

*この番組に対するお問い合わせ先

株式会社 **リブラ**

〒242-0007 神奈川県大和市中央林間4-5-9

田園都市建設ビル7F

TEL 046-272-6384 FAX 046-278-1161